

平成29年度 学校経営報告書（自己評価）

学校名	県立沼津東高等学校
-----	-----------

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	達成状況	自己評価	29年度の成果(○)と課題(●)	担当	
ア ◎人としての在り方を考え、主体的に判断し、周りの人と協働できる生徒の育成 ◎広い視野と行動力を持った生徒を育成	○自治会活動、部活動の充実 ○奉仕活動の実践 ○PTAとの協働による交通指導 ○「ケータイ安全教室」の実施	・自治会活動の満足度／90%以上※ ・ルールを守っている／90%以上※ ・部活動の満足度／90%以上※ ・1部活1ボランティアの実践 ・生徒の奉仕活動参加／100% ・交通事故件数／前年比3割減 ・情報モラル関連の生徒指導／0件	・「部活動の活動内容に満足している」：92%（学校生活アンケート） ・「規範意識の自己評価「ルールを守れている」：98%（学校生活アンケート） ・生徒の自主的な活動が行われている。満足度96%（学校生活アンケート） ・部活動や学年での奉仕活動を計画どおり行った。 ・交通事故件数：前年比2割増（前年度20件→今年度24件） ・情報関連の生徒指導：0件 ・「自治」から学校や社会での規範意識に結びつけることができたと考えられるが、交通規範については意識の改善が必要である。	B	○生徒自らが考えた自主的な活動が目立った。 ○生徒の社会性や積極性が広がり、行事に精力的に関わっている。また、行事や自治会活動を通じて、規範意識が向上した。 ○情報モラル教育については3年間継続して行い、それぞれの年次ごとに講師（会社）を変えて行うことで、高校生が直面する情報問題への提起と対処方法が理解できた。 ●部活動の部室や施設の使用規定等の整備・順守 ●交通事故件数の増加傾向に歯止めをかけるため、交通規範意識の改善 ●自治会に行事検討委員会を立ち上げ、行事の見直しや取組方など、本校の自治会行事の在り方の検討	生徒課・学年次部	
	○欠席・遅刻指導の励行 ○挨拶の励行 ○集団行動等の時間厳守指導 ○いじめ・体罰の撲滅	・欠席遅刻者数／1日3人以内 ・式や学年集会での時間厳守 ・いじめ、体罰／0件	・欠席 1年：2.2人/日、2年：3.5人/日、3年：3.7人/日 ・遅刻 1年：1.0人/日、2年：1.5人/日、3年：2.2人/日 ・早退 1年：0.3人/日、2年：0.3人/日、3年：0.4人/日（いずれも長欠者を含む） ・式や学年集会での集いや整列状況は良好であった。 ・いじめ、体罰 0件（学校生活に関するアンケート・体罰に関するアンケート）	・欠席 1年：2.2人/日、2年：3.5人/日、3年：3.7人/日 ・遅刻 1年：1.0人/日、2年：1.5人/日、3年：2.2人/日 ・早退 1年：0.3人/日、2年：0.3人/日、3年：0.4人/日 ・式や学年集会での集いや整列状況は良好であった。 ・いじめ、体罰 0件（学校生活に関するアンケート・体罰に関するアンケート）	B		○欠席が続いた生徒に対し、HR担任が生徒との面談や保護者への連絡等、早期の対応に取り組んだ。 ●遅刻が多い生徒への対応の改善 ●生徒に対する個別支援の継続
	○保育・介護体験実習時の積極的な事前準備と事後の振り返り	・活動の満足度／95%以上※	・事故0件、風邪症状による学校待機は1人 ・事前準備を入念にし、園児、入居者に生徒のから積極的に活動できた。	・事故0件、風邪症状による学校待機は1人 ・事前準備を入念にし、園児、入居者に生徒のから積極的に活動できた。	A		○今年度は不慮の事故等に備え、保険に加入した。 ○新たな実習施設を開拓し、1クラス1施設での同一日の実習を実現させた。 ●実習先との確実な事前確認と実習実施時期の調整等の徹底 ●帰校後の生徒への指導
	○3年間を見通した計画的な行事の実施・リーダー育成 ○自治会・香陵祭実行委員会を中心とした香陵祭の企画・運営	・達成感・満足度／100%※ ・行事等の中心となって活動する生徒の増加	・「学校行事の内容に満足している」：96%（学校生活アンケート） ・海浜教室、高原教室の「集い」では上級生の指導の下、学年次部ごと、生徒の自主的な活動が行えた。 ・1、2年時の経験を生かし、3年次生を中心として、多くの生徒がリーダーとして各行事で活躍した。	・「学校行事の内容に満足している」：96%（学校生活アンケート） ・海浜教室、高原教室の「集い」では上級生の指導の下、学年次部ごと、生徒の自主的な活動が行えた。 ・1、2年時の経験を生かし、3年次生を中心として、多くの生徒がリーダーとして各行事で活躍した。	A		○海浜教室、高原教室、香陵祭という3年間の流れの中で積極的に活動できる見通しを生徒が持てた。 ○自治会担当の適切な指導、助言が生徒の自治会運営能力を高めている。 ●3年間を見据えた適正な課内配置
	○高原教室 ・安全及び規律意識の涵養 ・生徒主導による「集い」の実施	・事故／0件 ・参加者満足度／100%※	・事故0件 ・参加者満足度：95.8%（事後生徒アンケート） ・現地ガイド組合と連携し、天候に対応した安全な登山を行った。また、生徒の手による「集い」を実施し、「自治」の精神を涵養した。	・事故0件 ・参加者満足度：95.8%（事後生徒アンケート） ・現地ガイド組合と連携し、天候に対応した安全な登山を行った。また、生徒の手による「集い」を実施し、「自治」の精神を涵養した。	A		○下見を充実し、安全な高原教室を今年も継続できた。 ○準備日程をたて、日程に従い早めに準備を進めた。 ●安全で満足度の高い登山コースの検討 ●年間行事を見据えた実施時期及び実施内容等の検討（校内委員会）
	○海浜教室 ・安全及び規律意識の涵養 ・質の高い泳力向上指導 ・生徒主導による「集い」の実施	・事故／0件 ・安全に留意して行動／100%※ ・積極的に「集い」を企画・運営、協力した生徒／100%※	・事故0件 ・参加者満足度：96%、「集い」満足度：94%（事後アンケート） ・水泳訓練は適切な指導の下で計画どおりの訓練を経て、遠泳を無事に実施した。 ・生活面では5分前行動が徹底できた。 ・生徒主導の「集い」は企画・運営の成功で大きな達成感を得た。	・事故0件 ・参加者満足度：96%、「集い」満足度：94%（事後アンケート） ・水泳訓練は適切な指導の下で計画どおりの訓練を経て、遠泳を無事に実施した。 ・生活面では5分前行動が徹底できた。 ・生徒主導の「集い」は企画・運営の成功で大きな達成感を得た。	A		○経験豊富なOB助手とライフセーバーに助けられた。 ●宿舍のリニューアルにより、宿泊部屋が手狭になった。 ●高原教室とともに、海浜教室の在り方を含めた検討（校内委員会）
イ ◎「高い志」の実現を目標に主体的に学習し豊かな自己を実現しようとする生徒の支援	○生徒の進路実現に対応した教育課程・行事予定・授業の編成 ○職業を知るセミナー、大学出張講義、医学科講演会、大学見学、県立がんセンター訪問研修の実施 ○各種模試・講演会の実施	・教育課程の満足度／90%以上※ ・各種行事の満足度／95%以上※ ・職業を知るセミナー、大学出張講義の冊子作成 ・進路行事、各種模試等への対象参加／100% ・「進路の手引き」作成	・「学校の授業（内容や進度）に満足している」：85% ・「学校行事の内容に満足している」：96% ・職業を知るセミナー及び大学出張講義の冊子を予定どおり作成した。 ・「進路の手引き」を作成し、PTA地区会等で活用した。 ・年間行事について全教諭から意見を集約しフィードバックするとともに、各分掌での検討を踏まえ、H30年間行事計画に反映させた。	A	○30年度行事を変更し、全ての行事の再検討、授業を確保できるように検討した。 ●土曜日に開催している進路関係行事について、実施日・方法等の検討 ●多忙化対応、働き方改革、次期学習指導要領対応を踏まえ、教育課程の見直しや年間行事編成等について特別委員会（教育課程委員会、行事検討委員会等）での検討	教務課・進路課・学年次部	
	○放課後講習、土曜講習、大学別校外模試の実施 ○進路講演会、大学説明会の実施	・5教科6・7科目型センター試験受験者／90%以上 ・国公立大学現役合格者／60%以上 ・難関大・医学部進学者／50人以上	・センター試験5教科受験率97%（受験者100%） ・国公立大学現役合格者：189人 ・難関大・医学部進学者：53人 ・土曜講習への1・2年次生受講率：100% ・3年次生の放課後講習、土曜講習への参加率：98% ・1.2年次生保護者対象の進路講演会を開催した。	・センター試験5教科受験率97%（受験者100%） ・国公立大学現役合格者：189人 ・難関大・医学部進学者：53人 ・土曜講習への1・2年次生受講率：100% ・3年次生の放課後講習、土曜講習への参加率：98% ・1.2年次生保護者対象の進路講演会を開催した。	A		○センター試験受験率は例年以上に高かった。 ○土曜講習等への参加率は非常に高い。 ●英検等の資格検定、校外模擬試験や土曜講習等の日程、内容等の検討 ●土曜日開催事業の精選
	○進路資料室・自習室の環境整備 ○進路資料の充実	・進路資料室・自習室の利用者／1日50人以上	・進路指導室や資料室、自習スペースは、常に満席に近い状況であった。	・進路指導室や資料室、自習スペースは、常に満席に近い状況であった。	A		●不要な書籍の整理 ●いすや机等の設備、自習スペースの充実等、学習環境の整備
ク ◎生徒の自己肯定感の獲得 ◎学校生活の充実 ◎希望ある未来像形成の支援	○悩みを抱えた生徒の早期発見 ○全ての面談希望を実現 ○生徒理解のための情報共有推進 ○教職員と保護者との連携促進 ○臨床心理士によるカウンセリングの実施 ○定例ミーティングの実施	・楽しく充実した生活を送っている／90%以上※ ・生徒情報を共有するシステムの確立 ・個別支援計画等の作成	・「楽しく充実した生活を送っている」：93%（学校生活アンケート） ・定例ミーティング：毎火曜3限に実施（26回）した。 ・スクールカウンセラー（SC）面談：11日15組、延22回の面談を実施した。 ・相談室では生徒と50回ほどの面談を実施。保護者とは面接だけでなく、電話での相談も行った。 ・適性検査・性格検査を約8人の生徒に実施した。	B	○ミーティングで情報共有を進めることができた。 ○SC面談後の情報交換会の内容が深まり、関わる職員と連携しながら効果的な活用ができた。 ●生徒情報のファイル化及び共有化 ●教育相談室の活動内容の明確化と共有化の方法の検討 ●個別の指導計画のフォーマットの運用 ●本校における合理的配慮の必要性の教職員共有	教育学年相談部	

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	達成状況	自己評価	29年度の成果(○)と課題(●)	担当
◎学校情報を効果的に発信し、信頼される学校づくりを推進	○学校HPによる情報発信 ○HPの効果的活用方法の研究 ○PTA等との綿密な連携 ○創立120周年に向けた雰囲気づくり ○保護者に対するアンケート実施	・PTA総会の参加率/70%以上 ・地区会の参加率/80%以上 ・保護者対象アンケート結果/4段階で全体平均3.50以上 ・HPに関する研修会開催/3回以上	・PTA総会への参加率: 72.8% (621/853) ・地区会への参加は、全ての地区で80%を越えた。 ・保護者対象アンケートの結果: 平均3.40、目標には届かなかったが毎年上昇している。 ・学校情報をきめ細かく学校HPに掲載した。 ・同窓会等と連携をとりながら、逍遙の社の今後の在り方や120周年記念事業等について具体的に動き始めた。	A	○本校への保護者の本校に対する期待の高さから、総会や地区会への出席率は例年同様に高い。 ●保護者の意見を聞きながら、総会や地区会の内容について新たな企画を検討 ●創立120周年に向けた具体的な取組	情報総務課
◎図書館広報活動の多角化 ◎朝読書・読書会の効果的な運営	○学年・教科等と連携した選書の質の向上、活用内容の高度化 ○図書館通信の学校HP掲載 ○一言感想文集の充実 ○読書会活性化	・年間貸出し数/生徒6000冊以上、総計7500冊以上 ・県読書感想文コンクール上位入選	・貸出し数は、1月末現在で4,500冊、総計6,000冊程度で、例年どおり、ほぼ目標レベルに達した。 ・高図研主催の県読書感想文コンクールで高図研会長賞を獲得した。 ・図書館通信(だより)発行とホームページの掲載を毎月、年間を通して行った。 ・朝読書一言感想文集に継続的にアンケートの要素を導入し改善を図った。	B	○図書館通信で学校教育活動とリンクした特設コーナー(全校読書会先生方推薦本コーナー・授業教材とリンクした評論及び小説コーナー・センター試験出典コーナー・職業を知るセミナーコーナー・秋季講演会コーナー等)や個々の先生方推薦本コーナーを広報し、生徒の興味・関心を高めた。 ●読書会運営・朝読書等に供する書籍の充実、通常貸出の実績とのリンク ●自習空間としての施設利用の一層の活性化	図書課
◎英語によるコミュニケーション能力が高く、国際感覚豊かな生徒の育成	○1年次生対象のワークショップ及びTOEIC(IP)TESTの実施 ○BB研修の実施(上記TESTの優秀者が参加する米国研修) ○短期・長期留学の紹介	・1年次生希望者数/40人の確保 ・ワークショップ回数/15回 ・TOEIC(IP)TEST回数/2回 ・米国研修報告書の発行 ・国、県、民間のプログラム参加	・今年度は希望者数が受入数と合致し、全員を参加させることができた。 ・今年もALTと連携し、Workshopが機能した。 ・米国研修には予定どおり10人の2年次生が参加した。 ・米国研修に参加できなかった生徒には、国内でのEmpowerment Program(3校合同開催)を紹介し、7人が参加した。	A	●米国研修の内容、引率生徒数について再考する。 ●国、県、民間が行う海外研修プログラムの紹介、積極的な参加の促進	B委員
◎課題研究の充実 ◎最先端の科学研究に触れる機会の確保	○設備・機材の計画的整備 ○科学未来館研修、電子顕微鏡実習、放射線実習、科学講演会の計画的実施 ○効果的な探究活動プログラムの研究	・課題研究達成度/5段階で4以上 ・研修満足度/5段階で4以上 ・実習満足度/5段階で4以上 ・科学講演会満足度/5段階で4以上	・課題研究達成度: 4.4 ・校外研修(科学未来館研修)満足度: 4.8 ・科学講演会(年2回)満足度: 4.0 ・静岡がんセンター研修満足度: 5.0 ・伊豆半島ジオパーク研修満足度: 5.0 (以上、生徒事後アンケート) ・理数科及び理系生徒を中心に、多くの体験・探究プログラムを提供した。	B	○理数科1期生を講演会講師に招いた。 ○課題研究では8月に国立遺伝学研究所を訪れ、中間発表・発表会では遺伝学の研究者に講演いただいた。 ●サイエンス・アドバンススクール(学力向上アドバンススクール)事業の後継事業への早期対応 ●達成状況について、達成度(生徒によるアンケート結果)以外の尺度の検討	理数科
◎生徒の学びや進路志望実現を支援する教職員の育成	○教育情勢や進路に関する情報の提供 ○情報共有化の促進 ○校内公開授業の実施 ○ICTを利用した授業方法の研究 ○沼東評価規準の研究	・研修報告書等の提出/100% ・研修成果や進路情報に関する報告、関係資料の配布/5回以上 ・公開授業及び授業参観/各1回以上 ・パフォーマンス課題を用いた研究授業の実施 ・ルーブリック評価の実践事例作成	・進路指導に関する研修や研究会に3年次部担任を中心に参加し、教科指導や面談、進路検討会等に活用した。 ・校内全体研修会や職員会議等で、高大接続改革に伴う入試改革に関する情報提供を随時行った。 ・NN10(沼津東NEXT10研究委員会)を中心に、県内外の先進事例情報の収集と共有を進めた。	B	○入試改革に向けた最新情報や先進的な取組について研修し、早急な対応の必要性を共有できた。 ●収集した情報の効果的な伝達機会の設定 ●新1年次生からの入試改革に向けた具体的な取組(活動歴の把握、探究学習等)の推進	情報処理課・研修課
◎倫理観と危機管理意識の高い教職員集団の育成 ◎健康・健全な職場環境づくり	○スクラップ&ビルドの徹底 ○適正な会計管理 ○経費削減意識の徹底 ○コンプライアンス研修の実施 ○危機管理に関する訓練の実施 ○定期的な健康診断の実施	・「はう・れん・そう」の励行 ・教職員の不祥事根絶 ・校外防災訓練参加率の向上 ・健康診断受診率/100%	・行事のスクラップ&ビルドの視点からの年間行事見直しについて全職員から意見を収集し、関係分掌等から回答した。 ・体罰を受けた・見た: 0件(生徒、保護者、教員対象アンケート) ・監査・検査で指摘を受けることなく適正な会計処理を行うことができた。 ・予算運営で節減を基調とした予算執行に努めた。 ・地域防災訓練への参加率: 89%、参加しなかった教職員: 44% ・避難後の人数把握等、より実践的な想定で防災訓練を行った。 ・健康診断の受診率は100%だが、再検査未受診者は数名いる。	B	○行事見直しについての意見聴取を通じて、変革への意識を少なからず高めることができた。 ○体罰厳禁を含め、不祥事根絶への意識は高い。 ○ごみ分別の意識の向上が見られた。 ●行事見直しについては、校内委員会において協議し、共通理解の下で全校的に推進 ●コスト意識を高め、引き続き効率的な予算執行 ●多忙を理由とさせない、働き方改革の推進	保健環境・課務室